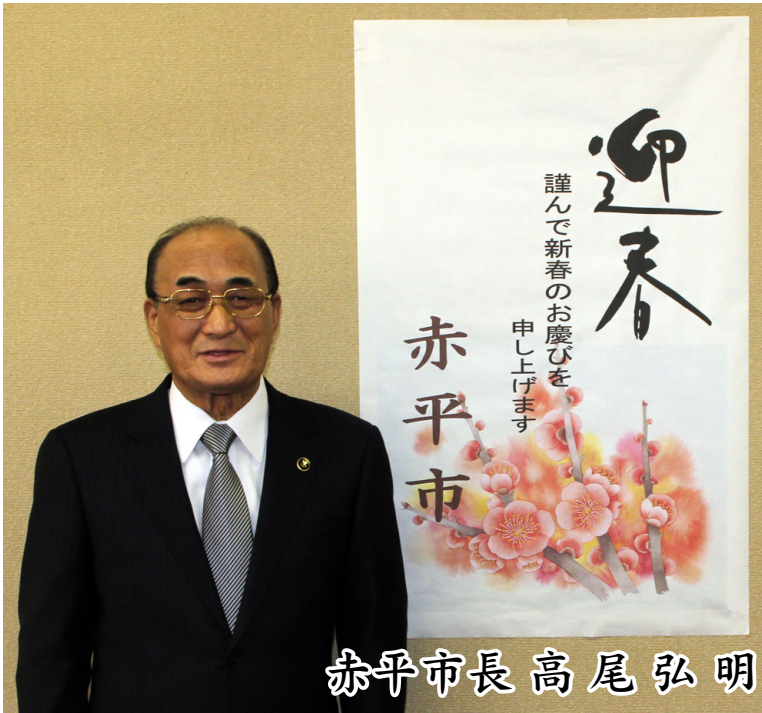


新年挨拶



赤平市長 高尾弘明

新年あけてましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお祝いとお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では、私たちがかつて経験した事のない東日本大震災が発生し、本市といたしましたも、職員派遣をはじめ、物資や義援金の提供、被災者の受け入れなどに取組んで参りましたが、改めて、亡くなられた方々に対しまして、心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災地の一日も早い復旧・復興を願うものであります。

本市では、災害時の備えの重要性を改めて認識し、早速防災資機材並びに備蓄品の計画的購入を開始したところであります。

また、サッカー界では、「なでしこジャパン」が2011FIFA



市民プールで楽しむ子どもたち

FA女子ワールドカップで、アジア勢初の優勝を遂げ、道内においても、コンサドーレ札幌が4期振りのJ1昇格を果たすなど、目覚ましい活躍が光り、最後まで諦めない姿勢は、私たちに勇気と希望を与えてくださいました。

一方、本市の最大の課題とされている財政問題であります。市民の皆様が力強いご支援とご協力によりまして、新たな財政健全化法による市全ての会計における「連結実質赤字比率」について、財政健全化計画より4年前倒す形で、平成22年度決算をもつて赤字を解消し改善することができました。これまでの市民の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。市立病院に基

まして、経営健全化計画に基づき、病床規模の縮小や職員削減、その他の経営改革を進め、現段階では改善方向に向かっております。今後も引き続き応援いた



2012年も花火大会開催決定

だきますようお願い申し上げます。

また、まちづくりの面では、新市民プールの開設、10年ぶりの「市民花火大会開催、8年ぶりの旧住友赤平炭鉱立坑のライトアップが実施されるなど、市民活動を中心として、まちの活力が生まれ始めております。私は、こうした住民の力に大いに期待を寄せるところであります。

社会情勢は今もなお不透明な状況であります。明日の赤平を変え、発展させる原動力は、市民一人ひとりの声であり、行動力です。人にやさしく、みんなが笑顔でいられる、そして元気な産業づくりを進めていくため、本年も全精力をあげてまいりますので、市民の皆様のご協力を心からお願ひ申し上げます。

皆様方と赤平市にとりまして、夢と希望がかなう一年となります。どうぞご祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



旧住友赤平立坑ライトアップ